

不動産・金融向けセミナーで講演

アバンセロジスティック（遠藤文社長、東京都港区）の河田栄司常務、協同組合物流情報net-eの大谷巖一理事長は、プロロジス（ジェフリーH. シュワルツ社長、港区）の三木真人シニアバイスプレジデントとともに8月4日、ビーエムジェー社主催の「不動産・金融業界のための物流不動産ビジネスセミナー」で講演します。

物流事業の変化に伴い、物流不動産を巡る環境は、物流不動産ファンドの出現、物流不動産を対象とするJ-REITの登場など急激に変わってきています。物流不動産ビジネスは、物流、不動産、金融、建設などの業際にまたがって展開されている中で、一般の不動産とは異なる物流不動産の特性を理解することが必須となっています。

セミナーでは、河田氏が、物流・不動産・金融の業際におけるマーケット、物流不動産ファンドの実態、物流不動産証券化の方法を解説。

大谷氏は物流業界の立場から、その増大する危機意識と物流不動産ビジネスとの関連について講演します。

また、三木氏は物流施設に特化した不動産開発事例と日本市場における事業目標を紹介する予定です。

このような物流不動産に関するノウハウを、金融・不動産の専門家に紹介する本格的なセミナーはこれが初めての試みとなるものです。